



みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎事務所/下田港事務所/田子の浦港分室
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 054-352-4146
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

清水港の発展を考えるシンポジウムを開催



今後の清水港のあり方を中心に話し合ったシンポジウム「清水港の発展を考える～物流を中心とした今後の取り組み～」(主催:中部地方整備局、清水港利用促進協会、清水港振興会)が平成19年1月10日(水)に清水テルサにて行われました。470人の熱気に包まれ始まったシンポジウムは、主催者挨拶を金井道夫中部地方整備局長が行い、清水港振興会会長の小嶋善吉静岡市長、望月義夫国土交通副大臣、藤野公孝国土交通政務官が挨拶をされました。

パネルディスカッションでは、東海大学海洋学部 篠原教授を迎え、清水港が、県内に広がる多様な企業・産業の物流拠点であり、また市民に親しまれる憩いの場として、さらなる発展・飛躍を図っていくために重要となる今後の施策や取り組みについて議論が交されました。

○主催者・開催市・来賓挨拶

○基調講演(プレゼンテーション)

港湾利用に関する今後の展望

(株)日通総合研究所主席研究員 小梶幸一氏

○行政報告(プレゼンテーション)

清水港に関する概況説明

中部地方整備局港湾空港部長 宮本卓次郎

○意見交換会(パネルディスカッション)

コーディネーター

東海大学海洋学部教授 篠原正人氏

パネリスト

日通総合研究所主席研究員 小梶幸一氏

清水商工会議所港湾運輸部会長 小松信介氏

鈴与株式会社専務取締役 水島章隆氏

国土交通省港湾局長 中尾成邦

2006豊かなウォーターフロントフォトコンテスト 国土交通大臣賞表彰状授与式を開催

港・海辺の四季折々、津々浦々の姿を、写真を通じてそのすばらしさを再認識し、ウォーターフロントの景観に対する意識を啓発することを目的とした写真コンテスト「2006豊かなウォーターフロントフォトコンテスト」(主催:(社)日本港湾協会、港湾海岸防災協議会、後援:国土交通省)において、多数の応募の中から、静岡市在住の山田英雄さんが撮影された、清水港を対象とした作品「富士を望むドック」(写真)が国土交通大臣賞(最優秀賞)に選定されました。

平成18年12月9日(土)に清水港湾事務所において、表彰状の授与式が執り行われ、望月義夫国土交通副大臣から山田さんへ表彰状が伝達されました。この作品のように、「美しい景観、水際のすばらしさを維持しなければ!」と再認識させられる作品だと思いました。



静岡県中・西部地域のみなとを考える市町長懇談会を開催



平成19年1月23日(水)に「静岡県中・西部地域のみなとを考える市町長懇談会」を静岡市で開催しました。

この懇談会は、中部地方整備局と静岡県内の港湾が所在する自治体において、港を活かしたまちづくりや地域振興における役割・課題などについて意見交換を行い、今後の港湾整備に反映させる目的で開催しております。

懇談会では、県中西部地域の新居町(浜名港)・浜松市(浜名港)・御前崎市(御前崎港)・牧之原市(相良港、榛原港、御前崎港)・大井川町(大井川港)・静岡市(清水港)・富士市(田子の浦港)の各市町から、各港の現状説明や港を取り巻く諸課題及び意見要

望が上がり、それに対し中部地方整備局と静岡県より回答を述べ、意見交換を行いました。

清水港みなと色彩計画が「手づくり郷土賞」を受賞

平成18年度手づくり郷土賞(地域活動部門)に「清水港・みなと色彩計画」の活動が選定され、平成18年11月28日(火)に「清水港・みなと色彩計画 市民・企業合同セミナー」開催に併せて、伝達式が盛大に執り行われました。

伝達式では松永技術企画官より、選定に至った理由の説明がなされた後、国土交通大臣賞の認定証が澤田所長より、清水港・みなと色彩計画実行委員会会長の田島學氏へ授与されました。また、記念の盾と副賞が、アドバイザー会議座長の東恵子氏へ手渡されました。

田島氏、東氏のお二人からは、「今回の手づくり郷土賞は静岡市民が頂いた賞です。」とお礼の言葉をいただきました。



国際港湾協会(IAPH)シンポジウム開催



国際港湾協会(IAPH)常任理事会開催記念国際シンポジウム「みなとの防災-高潮に備えて」が平成18年10月12日(木)に静岡県コンベンションセンター(グランシップ)で開催されました。

約300人が出席した会場では、津波・高潮対策の重要性や災害時における心構えなどについて意見交換を行いました。

事例発表では、トーマス・コーネギーIAPH会長が、米国に大きな被害をもたらしたハリケーン「カトリーナ」からの復興状況などを基に、ハリケーン災害とその教訓について発表されました。

事例紹介では、静岡県 角港湾総室長が清水港における港湾・都市を守る対策、物資輸送拠点としての対応など早期復旧のための対応について紹介されました。

(お詫び)

第66号のお知らせの中で国際港湾協会(IAPH)を(IAPA)と誤記しておりました。関係者のみなさまに深くお詫び致します。

田子の浦港中央埠頭地区多目的国際ターミナル着工記念式典の開催

田子の浦港は、県内第2位の貨物取扱量を有する重要港湾で、岳南地域の地域経済に大きく貢献しています。特に中央地区は、原材料の輸入を中心に利用頻度が高く港の中核となる埠頭です。しかし既存岸壁は水深が浅く船舶の大型化への対応や、東海地震などの大規模地震も危惧されていることから、その両面を踏まえた対策が田子の浦港には求められています。

清水港湾事務所では、中央地区の水深9m岸壁を水深12mの耐震強化岸壁（田子の浦港中央地区多目的国際ターミナル）として整備することにより、田子の浦港を取り巻く地域の物流効率化と大規模地震災害時の緊急物資輸送への対応を進めて参ります。それにあたって、各界の関係者を招いた着工記念式典を、平成19年2月12日（月）に田子の浦港に於いて行うこととなりました。



田子の浦港管理事務所提供

大型船がひしめき合う田子の浦港中央地区の様子

御前崎市大産業祭りに参加



平成18年11月25日（土）・26日（日）、海と山の食文化を再発見し、エネルギーの街・産業の街としての調和と魅力ある産業の創出を推進することを目的に、御前崎市大産業まつりが開催されました。

御前崎港事務所もブースを出展し、「御前崎港のパフレット」などを配布し、みなとのPRを行いました。ブースに展示してあった「御前崎港の紹介パネル」を見ながら「昔と比べてずいぶん発展してきて良くなっている。」といった意見をいただき、改めて港湾整備の重要性を認識しました。

清水港に客船・帆船が続々と

入出港状況

10月 4日(水)	「ばしふいっくびーなす」	(総トン数 26,518t 全長 183.4m)
10月 10日(火)	「ばしふいっくびーなす」	(総トン数 26,518t 全長 183.4m)
10月 26日(木)	「飛鳥Ⅱ」	(総トン数 50,142t 全長 241m)
10月 27日(金)	「日本丸」	(総トン数 2,570t 全長 110m)
12月 13日(水)	「飛鳥Ⅱ」	(総トン数 50,142t 全長 241m)
12月 14日(木)	「にっぽん丸」	(総トン数 21,903t 全長 167m)
12月 15日(金)	「にっぽん丸」	(総トン数 21,903t 全長 167m)

最近、清水港「日の出ふ頭」が賑わっています。毎回驚かされるのが、入港するたびに大型船を一目見ようと来る人が多いことです。

客船・帆船を温かく迎えてくれる富士山と清水港。いつまでも大切に、守りたい風景です。



ばしふいっくびーなす



にっぽん丸



日本丸



お知らせ

平成19年1月29日(月)から、**御前崎港事務所**の郵便番号が変更になります。

〒421-0601が

〒437-1621 に変わります。

*住所、電話番号の変更はありません。

平成19年2月1日(木)から、**清水港湾事務所**の局番が変更になります。

0543-52-4146(代表番号)の局番が

054-352-4146 (代表番号) に変わります。

*郵便番号、住所に変更はありません。

電話機・ファックス・パソコンなどに市内局番から登録されている場合は電話番号の再登録が必要となります。

みなとづくり見学会

“みなとづくり見学会”とは、地域コミュニケーション(広報広聴)活動の一環として、港に関する講座や港内を見学してもらい、地域の皆さんに広く『みなと』の果たす役割を理解してもらうために行っているものです。



10月以降の実施状況			
10月23日	静岡市生涯学習指導者協会	11月6日	中日本高速道路
11月14日	両河内女性学級	11月30日	静岡県中央児童相談所

管内の主な動き

10月以降の主な動き			
10月18日	清水港新興津地区 人工海浜・緑地基本計画検討委員会	11月27日	土肥港を中心とした 多様な連携による観光活性化協議会

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間: 9時~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く)

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください